

ロールプレイ「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」 シナリオ（養護教諭対応 ver.2）

平成 27 年度アレルギー・アナフィラキシー対応研修会資料

昼食後の 5 時間目。体育のサッカーの授業中、グラウンドで気分が悪くなった中学 1 年生の生徒 A 君。A 君はエピペンの保有者で、自分の鞆の中にエピペンを持っています。

今日は担任の先生は出張のため、校内にいません。

授業担当教諭が保健室に A 君の体調不良を伝えに来室しました。

養護教諭はどのような対応をしますか？

（出演者）

- ・ 患者生徒 A（食物アレルギー、アナフィラキシーに対してエピペン対応するよう管理指導表を提出している）
- ・ 授業担当教諭 B（配慮を要する生徒という認識がない）
- ・ 隣で授業をしていた教諭 C
- ・ 体育委員生徒 D
- ・ 養護教諭 E（参加者の中から選出）、（他の先生 F）

〈場面Ⅰ；グラウンド〉

- ① A「先生、ちょっと気持ち悪いです」注 1-1
- ② B「気分が悪いのか、軽い熱中症かな、少しその辺で休んでいたら？」注 2-1
- ③ A「お腹が痛い…。ゴホゴホ（咳をする）」注 1-2
- ④ B「一人で保健室行けるか」注 2-2
- ⑤ A（咳き込み、お腹も痛そう）「しんどくなってきました」注 3
- ⑥ B「A 君、しんどいのか、養護の E 先生を呼んでこよう」（B 先生自身が保健室へ）注 4

〈場面Ⅱ；保健室〉

- ⑦ B「E 先生、A 君が体育の授業中に体調が悪くなって、グラウンドで休んでいます。吐きそう…とか言って、咳き込んでいました」

ver. 2 ここで準備を依頼せずに、B 先生と一緒に戻る場合

〈場面Ⅲ；グラウンド〉

- ⑫ A（ぐったりしている）
- ⑬ 養護教諭 E がかけつける。隣で授業をしていた C 先生もやってくる。
E「A 君しんどいの？」
- ⑭ A「苦しい、しんどい」（息苦しいそう、ぐったりし応答がなくなる）
E：対応 注 6
C：連絡 注 7

- ⑮ E (症状を把握：意識障害、呼吸困難)
(緊急性が高いアレルギー症状であると判断)
「Aはアナフィラキシー、緊急性が高いアレルギー症状が考えられます」
(Aの下肢挙上)
- ⑯ E (B先生に準備を依頼)
「B先生、『緊急時対応個別カード』『緊急時対応経過記録表』、AEDを職員室から、エピペンを教室(の後ろのドアを入ってすぐの一番端、上段にある)A君の鞆(の外側のポケット)からとってきてください」
- ⑰ E (C先生に連絡を依頼)
「C先生、救急車を呼んでください、あと校長先生と他の先生も呼んでください。保護者にも連絡してください」
- ⑱ C (依頼しなくてもC先生が自ら連絡)
「救急車を呼んでできます。保護者に連絡、校長先生も呼んでできます」
C (救急車を要請)
「救急車をお願いします」
「〇〇町〇〇番地の〇〇中学校のグラウンドです」
「食物アレルギーのある、エピペンを処方されている1年生の男子生徒が給食後の体育中に、嘔気、咳き込みがあり、ぐったりしており、アナフィラキシーをおこしています」
「私は、教師のCと言います、何かあれば〇〇〇に電話ください」
(校長先生呼ぶ、保護者に連絡、他の先生も呼ぶ)
- ⑲ B 「エピペンもってきました」(緊急時の対応の準備(「学校生活管理指導表」「緊急時対応個別カード」「緊急時対応経過記録表」等)、エピペン、AED、内服薬を持って到着)
- ⑳ E (B先生にエピペン投与の介助を依頼すれば)
「B先生、Aの右の太ももを押さえてください」
(エピペン投与)エピペンの打ち方を思い出してください。
- (F：「〇時〇分、右の太ももにエピペンを注射しました」(「緊急時対応経過記録表」に経過記載)
上手く対応すると
A 「しんどいの少しまし」(呼吸が楽になり、受け答えもしっかりしてくる)
F 「呼吸が楽に、受け答えしっかりしてきた」(経過記載)
救急車到着